

第3回「地域で育てる子どもたち」

令和3年 10 月 23 日(土) 10:00～12:00

講師:こども支援センターゆいまわる

代表 仲間 知穂 氏

アセスメントの結果

＊評価の基準は、アセスメント項目に対し、次のとおりとした。

5(とてもよくあてはまる) ⇄ 3 ⇄ 1(全くあてはまらない)

1 アセスメント項目ごとの評価

項目		評価
1	うらそえのことが好きだ	4.5
2	うらそえの将来像をイメージすることができる	3.7
3	地域の課題に興味を持った	4.3
4	地域の課題は自分のことだと感じる	4.5
5	協働によるまちづくりに参加してみたいと思う	4.3
6	協働によるまちづくりについてもっと知りたい	4.3

2 講座内容について

1. 今回の講座を受講して、感じたことをお書きください。(自由記入)

①ちょうど固有受容覚や前庭覚を勉強中でした。私は教員で作業療法の視点を取り入れた学習環境づくりを取り入れていきたいと考えていました。工夫はたくさんできると思います。注意する指導ではなくできることにとりくんでいける支援指導が継続できればと思います。ありがとうございました。

②頑張っている子どもたちを私たちが問題のある子だとしてしまって、そうした子どもたちの居場所を奪ってしまっていることに気づかされました。

③子どもの側に立った視点で、子どもたちを支援していきたいと思いました。

④今回の講座の中で“子どもの100%頑張っている姿に問題行動として名づけるのはいつも大人だ”というお話がとても印象に残っています。現在 3 人の子育てをしています、これまではつい注意したり手を貸したりしていた出来事も子どもたちは興味や好奇心をもって頑張っている姿だったのかと考え直すことができました。余裕のない毎日の中でつい忘れがちですが、子どもの成長を止めることのないように見守っていきたいです。

⑤仲間講師の考えは、すごく共感するおはなしばかりで、とても良かったです。昔は、あたりまえのようにできていた地域との関りや公園でのあそびなど、今の子ども達にも経験してほしいです。

⑥現在、未就学児を子育て中なので、今後、子ども達が受ける教育の場がどうなっているのか知りたくて参加しました。子どもの教育を「学校」だけには任せない体制づくりが進められていることに安心しました。また専門家が学校に入ること、先生たちの負担が軽減され、子どもたちの課題解決につながるのはとてもよいことだと感じました。多様な子どもに対応できる、多様な学びの場や機会、仕組みが今後も進んでいくことを期待しています。その為には、大人たちが既成概念や過去の慣習に縛られることなく、新しい教育の在り方を学び、アップデートしていくことが必要だと感じました。私も引き続き、学んでいきたいと思います。講座の中で、コロナの影響により今後、発達障害の子どもが増えることが予想される。というお話があり、とても心配になりました。今からでもできること、今だからやるべきことを社会や大人が考えて早急に実行し、子どもたちへの悪影響を早急に食い止めなくてはいけないのでは、と思います。

2. 今回の講座内容に関連して、うらそえをより良くするためのあなたのアイデアや提案などがあればお書きください。(自由記入)

①浦添市でも、専門家の力を借りチームで子どもたちを支援して欲しい。

②公園の遊具を増やす。

③学校の校長先生で、地域との関係性をくずされないようにしてほしい。

④「教育関係者」に限定せず、多様な分野・職業の人が教育に携わることで、解決できる課題は多くあるのではないかと感じました。「子どもは地域で育てる」という意識で連携していくこと、その連携は、教育だけでなく、福祉や街づくりにもつながっていくと思います。私も現在、「沖縄の子ども達に演劇体験を届けよう！」というプロジェクトに関わっています。沖縄県内の演劇関係者が連携し子ども演劇プログラムを作成し、県内の幼稚園・保育園・学校等での出張上演を行うことで、1人でも多くの子ども達に良質な文化芸術体験の機会を創出することを目指しています。演劇を通して、表現することや、創造することの楽しさを伝え、子どもたちの心を育むことを目的としています。コロナ禍の今だからこ

そ、バーチャルでないリアルな体験が必要だと考えています。是非、浦添の子ども達にも「演劇体験」を届けたいです。

3. 今後、てだこ市民大学で実施してほしいテーマがありましたらお書きください。
(自由記入)

①SDGsの目標と関連づけた講座。

②コロナ禍において多くの犠牲を受けたのは「子どもの学び・体験」の機会の損失だと思います。いまだからこそやるべきことはなにか！を考え、実践できる場があるといいな、と思います。





浦添市てだこ市民大学 雑記帳 第40号

令和3(2021)年 10月

第3回公開講座 地域で育てる子どもたち

令和3年10月23日土曜日、第3回公開講座が開催されました。

講師は、こども相談支援センターゆいまわる代表の仲間知穂先生。

講座は、1.「届けたい教育」を叶えるための学校と家庭と地域の連携、2. “できる”にフォーカスする 子どもの関わり方・作業療法の視点、3. 質問回答など、約1時間半、Zoomにて行われました。(事前に収録した動画を配信)

第1部では、2人の子どもの事例から、“学校、家庭、地域が連携する際に必要な視点”“なぜ届けたい教育ができることは大切なのか”等、子どもの問題と思われる行動を解決するための考え方を解説していただきました。

第2部では、子どもの視点から考えるとはどういうことか、子どもたちの普段の行動から解説いただき、今日からでも実践できる子どもたちへの声かけなどを教えていただきました。



第2部の後半では、講座の開催方法変更前に受付した質問への回答、そして昨年テレビで放送されたこどもセンターゆいまわるの特集動画を視聴しました。

受講者からは、『これまでつい注意したり手を貸したりしていた出来事も、子どもたちは興味や好奇心をもって頑張っている姿だったのか、と考え直すことができた』などの声が寄せられました。

受講者の声

- ・頑張っている子どもたちを私たちが問題のある子だとしてしまい、そうした子どもたちの居場所を奪ってしまっていることに気づいた。
- ・子どもの成長を止めることのないように見守っていきたい。

次回の講座は

「浦添の歴史～浦添を築いてきた人々～」
令和4年1月22日(土) 10時～12時
講師：斎藤 仁然 氏

(琉球歴史文化研究所コブワプラザ附設)

※Zoomにて録画配信

※11/22受講申込受付開始！

お問い合わせ

浦添市 市民部 市民協働・男女共同参画課
TEL/098-874-5711 FAX/098-874-5890
MAIL/siminkyodo@city.urasoe.lg.jp

▼ホームページ



▼Facebook



第4回「浦添の歴史」

令和4年 1 月 22 日(土) 10:00～12:00

講師：琉球歴史文化研究所

クボウグランデ所長

賀数 仁然 氏

アセスメントの結果

＊評価の基準は、アセスメント項目に対し、次のとおりとした。

5(とてもよくあてはまる) ⇄ 3 ⇄ 1(全くあてはまらない)

1 アセスメント項目ごとの評価

項目		評価
1	うらそえのことが好きだ	4.4
2	うらそえの将来像をイメージすることができる	2.8
3	地域の課題に興味を持った	3.3
4	地域の課題は自分のことだと感じる	2.8
5	協働によるまちづくりに参加してみたいと思う	3.0
6	協働によるまちづくりについてもっと知りたい	3.5

2 講座内容について

1. 今回の講座を受講して、感じたことをお書きください。(自由記入)

①とてもおもしろい。なぜ金属工場とわかったか知りたい。

②浦添市にいかに独特な歴史があったかを再認識できた。非常に参考になりました。

③県外在住者です。旅行では浦添を通りすぎてしまう事が多いのですが、こんなに歴史の重要な場所だったとは驚きました。一度行ったことがある浦添ようどれですが、もう一度行ってみたいと思われました。オンラインの講座は遠く住んでいる人でも受講出来るので助かります。また機会があれば受講したいです。

④浦添の歴史がわかりやすい解説で良く理解できました。賀数先生の郷土を愛する心が伝わり沖縄の先人たちの偉大さに感心しました。沖縄の素晴らしさがわかる(講義であった石積みの技術が日本の城と比較して250年進んでいる)内容でした。今後も沖縄の優れた技術が日本よりも先行して行われたことを学びたいです。

⑤人物が多いのと、短い時間なので仕方がないが、進みが早くて初心者にはついていくのが難しかった。一つの時代、あるいは一人の人物に絞ってもいいと思った。

⑥浦添の王統の歴史について学ぶことができ、大変良かった。また、賀数先生の話し方も楽しく、最後まで飽きることなく受講することができました。

⑦知らないことが多く、知ることによって魅力を伝えていくことができると感じたが観光コンテンツとしていく為にはよりハード面での整備も重要だと感じた。

2. 今回の講座内容に関連して、うらそえをより良くするためのあなたのアイデアや提案などがあればお書きください。(自由記入)

①直接質問したかった。

②浦添市の歴史もそうですが、県民が琉球の歴史を学ぶ機会があまりにも少ないため、小中学校の教育でも沖縄史、琉球の歴史に触れる機会がもっとあれば地元への誇りや愛着を持つことができ、それがうらそえだけではなく、沖縄全体をより良くすると思う。

③浦添生まれ、浦添育ちで、結婚を機に関西に住んでいますが、今回のようにリモートで参加できる講座があると嬉しいです。

④沖縄や浦添市の歴史に興味があったので、大変勉強になり楽しかった。

⑤地域の人々がより知ることができる機会が必要だと思う。と同時に知りたいと思える場所にしていけることが重要であり、ゲーム形式やコンテンツ化することが幅広く取っつきやすい手法であると感じる。

3. 今後、てだこ市民大学で実施してほしいテーマがありましたらお書きください。(自由記入)

①英祖王の生涯。

②今回の浦添の歴史の続編で、その時代の琉球全体の歴史と照らし合わせながら浦添王統に与えた影響などが学べる講座。

③健康関連・生活の知恵(特産品、料理教室など)。



浦添市てだこ市民大学 雑記帳 第41号

令和4(2022)年 1月

第4回公開講座 浦添の歴史～浦添を築いてきた人々～

令和4年1月22日土曜日、第4回公開講座が開催されました。

講師は、琉球歴史文化研究所クボウグランデ所長の賀数仁然先生。

講座は、賀数先生による楽しい歴史のお話の後、事務局による簡単なおさらいクイズなど、約2時間、Zoomにて行われました。(事前に収録した動画を配信)

第1部では、浦添にいた3人の王の生い立ちや、冊封と交易の始まりは実は浦添であったことなどを解説していただきました。

第2部では、謎が謎を呼ぶ「瓦」のお話や、先進の石積み技術、浦添ようどれにあった、当時ではありえない金匱工房のお話などを、楽しく、わかりやすく解説していただきました。

てだこ市民大学ならではのお話を聞いた受講者からは、「先人たちの偉大さに感心した」、「英祖王の生涯について知りたい」などの声が寄せられました。



受講者の声

- ・賀数先生の郷土を愛する心が伝わり沖縄の先人たちの偉大さに感心しました。
- ・直接質問したかった。
- ・浦添生まれ、浦添育ちで、結婚を機に関西に住んでいますが、今回のようにリモートで参加できる講座があると嬉しいです。
- ・沖縄や浦添市の歴史に興味があったので、大変勉強になり楽しかった。

本日のおさらい！

浦添の歴史クイズ



「冊封と交易は浦添から」というお話を聞きましたか？
正解が正解として98.3%、中絶へ達した動画があります

A 犬 B 馬 C ハブ
犬 馬 ハブ

令和4年度も公開講座実施予定です。
皆様のご参加、お待ちしております。

智 8: 浦王エド

浦添市 市民部 市民協働・男女共同参画課
お問い合わせ TEL/098-874-5711 FAX/098-874-5890
MAIL/siminkyodo@city.urasoe.lg.jp

▼ホームページ



▼Facebook



浦添市てだこ市民大学実施要綱

(令和3年3月11日市民部長決裁)

(趣旨)

第1条 この要綱は、まちづくり生涯学習と市民協働の推進を図るため、市民が地域の資源及び課題並びに地域の課題解決に向けた市民協働の取組についてともに学ぶ講座を開設する浦添市てだこ市民大学(以下「市民大学」という。)の実施に関し、必要な事項を定めるものとする。

(講座)

第2条 市民大学の講座(以下「講座」という。)は、定期講座又は公開講座とする。

2 講座の内容は、次に掲げるものとする。

- (1) うらそえの地域の資源及び課題に関すること。
- (2) 地域の課題解決に向けた市民協働の取組に関すること。
- (3) その他まちづくり生涯学習と市民協働の推進に資すると認められること。

(対象者)

第3条 講座の対象者は、本市のまちづくり生涯学習及び市民協働に関心のある者とする。

2 市内に住所を有しない者が定期講座の受講を希望するときは、本市のまちづくりに取り組む意欲のある者を対象者としてすることができる。

(定期講座の受講手続)

第4条 定期講座の受講を希望する者は、次の事項を記載した受講申込書を市長に提出するものとする。

- (1) 氏名
- (2) 生年月日
- (3) 住所
- (4) 電話番号及びメールアドレス
- (5) 講座で学びたいこと及び市民協働により取り組みたいこと
- (6) その他受講にあたって必要な事項

2 市長は、前項の受講申込書を提出した者が前条の要件に該当すると認めるときは、受講を決定するものとする。

(受講料)

第5条 市長は、市民大学の運営に必要な経費の一部を受講料として徴収することができる。

2 受講の決定を受けた者(以下「受講者」という。)は、受講料を市長が指定する日までに納付するものとする。

3 受講料は、受講者が講座を受講しない場合においても、返還しない。ただし、市長が特別の理由があると認めたときは、この限りでない。

(受講決定の取消し)

第6条 市長は、受講者が次の各号のいずれかに該当すると認めたときは、受講の決定を取り消すことができる。

(1) 受講者が受講料を納付しないとき。

(2) 虚偽の申込により受講の決定を受けたとき。

(3) 他の受講者の迷惑となる行為のあったとき。

(4) その他受講の決定を取り消すことがやむを得ない事情があるとき。

(受講証書の交付)

第7条 市長は、定期講座の受講を終えた者に対し、受講証書を交付するものとする。

(実施報告)

第8条 市長は、市民大学の実施状況について、適宜に、浦添市まちづくり生涯学習推進本部及び浦添市まちづくり生涯学習推進協議会に報告するものとする。

(学長及び運営支援サポーター)

第9条 市民大学の学長は、市長をもって充てる。

2 学長は、講座に参加することができる。

3 市長は、市民大学の運営を支援するため、運営支援サポーターを置くことができる。

(庶務)

第10条 市民大学の運営に関する事務は、市民部市民協働・男女共同参画課において処理する。

(委託)

第11条 市長は、市民大学の運営の全部又は一部を委託することができる。

(雑則)

第12条 この要綱に定めるもののほか、定期講座の期間、定員、内容、受講手続及び受講料の額並びに公開講座の内容その他市民大学の運営に関し必要な事項は、その都度、別に定める。

附 則(令和3年3月11日市民部長決裁)

この要綱は、令和3年3月12日から施行する。

令和3年度 浦添市てだこ市民大学実施要領

令和3年6月22日市民部長決裁

この要領は、浦添市てだこ市民大学実施要綱（令和元年5月7日市民部長決裁）第12条に基づき、令和3年度てだこ市民大学の公開講座の内容その他市民大学の実施に関し必要な事項を定めるものとする。

1 期間

講座の期間は、令和3年5月から令和4年1月までとし、公開講座のみとする。

2 テーマ、目的、目標

(1) テーマ

求む！うらそえ応援団

(2) 目的

- ① 「うらそえ」のまちを知る
- ② 協働によるまちづくりを学ぶ
- ③ 協働のきっかけをつくる

(3) 目標

次の項目について、表1により受講者の状況をアセスメントし、その達成状況を把握する。

ただし、オンライン上でのアセスメントについては表1の内容を適切な方法により実施する。

- ① うらそえのまちについて、魅力と課題に気付く
- ② 協働によるまちづくりを学び、当事者の意識をもつ
- ③ 協働によるまちづくりへの意欲を向上させ、活動のきっかけとする

3 内容及び日程

公開講座の内容及び日程は、表2のとおりとする。

ただし、日程及び内容等の詳細については、講師との調整等により、適宜、

変更するものとする

4 受講手続

- (1) 受講申込書の様式は、浦添市てだこ市民大学受講申込書(様式1)とする。
ただしオンライン上での申請に係る個人情報の収集項目等については、様式1と一致させるものとする。
- (2) 受講申込期間は、各講座の実施日の4週間前から2週間前までとする。
ただし、期間後に受講申込があった場合において、講座の運営に支障が無いと認められるときは、講座の受講を決定することができる。

5 受講料

受講料は、1講座500円とする。ただし、第1回目は無料とする。

表1 令和3年度 浦添市てだこ市民大学のアセスメントシート

アセスメント項目の問いについて、次の基準で評価点数にチェックしてください。

5(とてもよくあてはまる) ⇔ 3 ⇔ 1(全くあてはまらない)

項目		5	4	3	2	1
まちづくり協働について						
1	うらそえのことが好きだ					
2	うらそえの将来像をイメージすることができる					
3	地域の課題に興味を持った					
4	地域の課題は自分のことだと感じる					
5	協働によるまちづくりに参加してみたいと思う					
6	協働によるまちづくりについてもっと知りたい					
講座内容について						
1	今回の講座を受講して、感じたことをお書きください(自由記入)					
2	今回の講座内容に関連して、うらそえをより良くするためのあなたのアイディアや提案などがあればお書きください(自由記入)					
3	今後、てだこ市民大学で実施してほしいテーマがありましたらお書きください(自由記入)					

表2 令和3年度 浦添市てだこ市民大学の講座内容と日程

回	日時	講座内容		受講方法
1	2021 年 5 月	基礎講座（無料） ①学長講話 ②『Zoom でつながろう』	○浦添の姿を知る ○浦添の将来像を知る ○Zoom を使ってオンラインで繋がることを体感してみる	①動画配信 ②Zoom
2	8 月	『市民協働を始めよう』	○市民協働について知る	Zoom
3	11 月	『地域で育てる子どもたち』	○地域における子ども支援について知る	動画配信
4	2022 年 1 月	『うらそえの歴史』	○てだこのまち浦添の歴史を知る	動画配信

※日程や内容は、変更する場合があります

様式 1

浦 添 市 て だ こ 市 民 大 学 受 講 申 込 書

申込日： 年 月 日

フリガナ	
氏名	
メールアドレス	
住所	
電話番号	
受講申込講座	☐ 第 1 回(※無料) ☐ 第 2 回 ☐ 第 3 回 ☐ 第 4 回
講座情報入手先	☐ 広報うらそえ ☐ チラシ・ポスター ☐ 知人の紹介 ☐ 浦添市のホームページ ☐ その他()
自由記入欄	(受講目的・講師への質問など)

①【Zoom 講座中における、画像等の公開に関して】

Zoom 講座実施中の講演について、受講生のお名前と画像は、原則、ミーティング画面に公開されます。あらかじめ確認の上、以下にチェックをお願いします。

Zoom 講座中の名前や映像の公開について

☐同意します ☐同意しません

②【本市ホームページ等における、個人情報の公開に関して】

講座実施中の画像について、講座の様子として本市ホームページ等において公開する可能性があります。あらかじめ確認の上、以下にチェックをお願いします。

本市ホームページ等の名前や画像の公開について

☐同意します ☐同意しません

上記①及び②について、チェックがない場合は、同意しないものと判断いたします。

浦添市てだこ市民大学沿革

本市は、市民一人ひとりの学習の成果を本市のまちづくりに活かせる社会、また、多様な学習を通して、まちづくりに関われる社会の実現をめざしています。その理念の下、第三次浦添市総合計画(平成13年～22年)の重点施策として市民大学構想が実現し、4学部、2ヶ年制の市民対象の大学として平成20年10月に開学、平成21年5月に1期生が入学し、現在に至っています。

本市民大学は、「学習してきた成果を地域社会や学校教育等に還元していく」ことを理念とし、キーパーソン、リーダーとして、これからのまちづくりに寄与できる人材を育成することを目的とし、第四次総合計画(平成23年～32年)では、「ひとづくり」「ものづくり」「まちづくり」に取り組むことがより重要とされ、協働のまちづくりに向け本市民大学の担う役割は、さらに重要性を増しております。

令和元年度より、本市民大学は制度および講義内容を見直し、「市民協働によるまちづくり」の学びを充実して参りました。

卒業生及び受講された皆さんは、延べ363名となりました。卒業後は、自治会の役員、市社会教育指導員、学校支援地域本部事業コーディネーター、放課後子ども教室コーディネーター、スポーツ推進委員、青少年健全育成市民会議事務局員、各種審議会、各種団体(市PTA連合会、市婦人連合会、市子ども会育成連絡協議会、市民生委員・児童委員連絡協議会、人権擁護委員、行政相談員)等の役員・委員等、各分野で活躍しています。

【 経 過 】

平成19年11月29日(土) 「浦添市まちづくり生涯学習推進協議会」に「市民大学」開学を諮問

平成20年7月31日(木) 「浦添市まちづくり生涯学習推進協議会」より浦添市てだこ市民大学の開学展開について答申

平成20年10月18日(土) 浦添市てだこ市民大学 開学

学長：儀間光男(市長) 副学長：西原廣美(教育長)

4学部・2年制 コミュニティビジネス・地域振興 学部、健康福祉・スポーツ振興学部、文化振興・教養学部、地域・学校支援コーディネーター養成学部(事務局を浦添市教育委員会生

涯学習振興課に置く)

平成21年 5月10日(日) 第1期生 入学式(4学部・66名)

平成22年 5月9日(日) 第2期生 入学式(4学部・43名)

平成23年 3月17日(木) 第1期生 卒業研究発表会

3月20日(日) 第1期生 卒業式(4学部・47名)

5月15日(日) 第3期生 入学式(4学部・48名)

10月 副学長 津波清(教育長) 就任

平成24年 3月11日(日) 第2期生 卒業研究発表会

3月18日(日) 第2期生 卒業式(4学部・38名)

5月13日(日) 第4期生 入学式(4学部・48名)

平成25年 2月 学長 松本哲治(市長) 就任

3月10日(日) 第3期生 卒業研究発表会

3月17日(日) 第3期生 卒業式(4学部・36名)

5月19日(日) 第5期生 入学式(4学部・41名)

6月 副学長 池原寛安(教育長) 就任

平成26年 3月2日(日) 第4期生 卒業研究発表会

3月16日(日) 第4期生 卒業式(4学部・37名)

5月18日(日) 第6期生 入学式(4学部・38名)

平成27年 3月1日(日) 第5期生 卒業研究発表会

3月15日(日) 第5期生 卒業式(4学部・29名)

3月 地域・学校支援コーディネーター養成学部を地域・学校支援学部
へ名称変更

6月14日(日) 第7期生 入学式(3学部(コミュニティビジネス・地域振興学
部は休部)・28名)

平成28年 2月28日(日) 第6期生 卒業研究発表会

3月13日(日) 第6期生 卒業式(4学部・26名)

4月25日(月) 第8期生 入学式(3学部(地域・学校支援学部は休部)・20名)

平成29年 2月25日(日) 第7期生 卒業研究発表会

3月12日(日) 第7期生 卒業式(3学部・22名)

4月21日(金) 第9期生 入学式(コミュニティビジネス・地域振興学部・11
名)

5月 副学長 嵩元盛兼(教育長) 就任

平成30年 2月24日(土) 第8期生 卒業研究発表会
 3月10日(土) 第8期生 卒業式(3学部・12名)
 4月2日(月) 学部制を廃止し、修学期間を1年とする
 事務局を市民部市民協働・男女共同参画課へ移管
 5月17日(木) 第10期生 開講式(20名)
 平成31年 2月16日(土) 第9期生 卒業式・卒業研究発表会(1学部・4名)
 第10期生 卒業式(16名)
 3月3日(日) 浦添市てだこ市民大学開学10周年記念式典・同窓会
 令和元年 5月23日(木) 令和元年度開講式(14名)
 9月28日(土) 令和元年度閉講式(受講証交付者13名)
 令和2年 4月 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を延期
 9月 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を中止
 令和3年 1月16日(土) 性の多様性の尊重についての講演会 ※動画配信
 令和3年 6月26日(土) 令和3年度第1回公開講座開催
 令和3年 8月28日(土) 令和3年度第2回公開講座開催
 令和3年 10月23日(土) 令和3年度第3回公開講座開催
 令和4年 1月22日(土) 令和3年度第4回公開講座開催

【期ごと卒業生又は受講者の状況】

単位：人

年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H30	R元	R2	R3	合計
期	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10				
人数	47	38	36	37	29	26	22	12	4	16	13		83	363

- * 第1期から第10期までは卒業生、令和元年度から令和3年度は受講者の人数です。
- * 第1期から第9期までは2年制、第10期は1年制です。
- * 令和2年度は国および県によるコロナの緊急事態宣言のため、受講者はいません。
- * 令和3年度は公開講座のみ開催。

